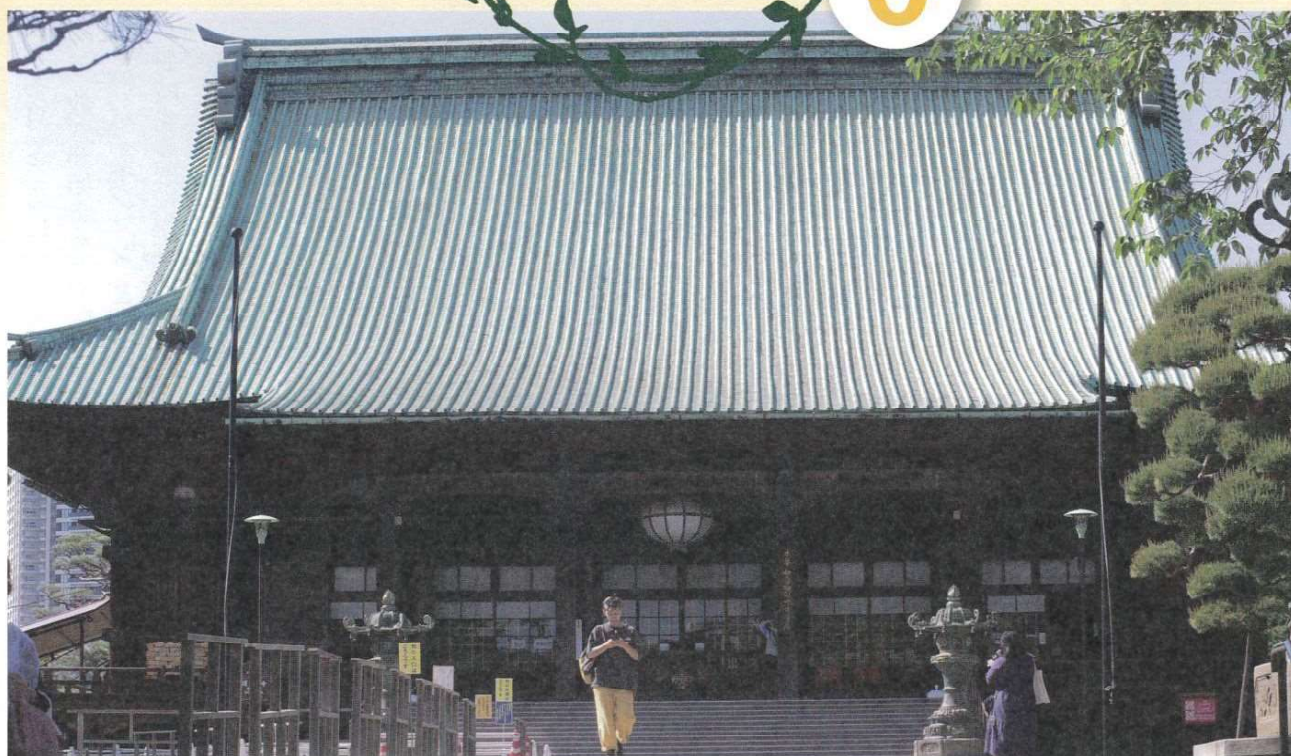


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
発行人 山崎 哲  
編集長 仲井 真裕  
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
願いに生きる人となる



護国寺(文京区)

## 西徳寺の予定

### 6月

- 8日(土) 午後5時半 同行会 「和讃」に学ぶ  
法話:蓮井 邦宗  
9日(日) 午後2時半 城北ブロック会総会・間法会  
場所:池袋くいもの屋わん  
15日(土) 午後2時 定例間法会  
16日(日) 午後2時半 城東ブロック会総会・間法会  
場所:亀戸文化センター  
19日(水) 午後1時半 婦人会間法会  
20日(木) 午後2時 評議員会役員会

- 22日(土) 午後2時 総代会  
30日(日) 午後3時 燈籠塾セミナー

### 7月

- 13日(土)~16日(火)  
(10日からお盆体制となり、新盆を中心にお参りに伺います。)  
20日(土) 午後2時 定例間法会  
21日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会  
場所:西徳寺  
24日(水) 午後1時半 婦人会間法会

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

## ランドマーク 護国寺(文京区)

今月は文京区大塚にある真言宗豊山派大本山、護国寺に伺いました。  
創建は天和元年(1681)、徳川綱吉が母、桂昌院の願いをうけ建てられました。本堂(観音堂)は、元禄時代の建築工芸の粋を結集した大建造物でありながら、わずか半年あまりの短い期間で建築されました。約250坪に及ぶ本堂は、都内最大級の木造建築物とされています。  
明治16年・大正15年と、火災で堂宇の多くを失いましたが、本堂は元禄以来の姿を変えず、震災、戦災と二度の大災害に襲われた東京の都心にありながら、江戸の面影を今に伝えています。

顧問の一言は次のページ

## 6月の山門の言葉



### 善悪の字しりがおは おおそらごとのかたちなり

今月で三歳になる息子は、アニメ「アンパンマン」が大好きで、放送が始まると大騒ぎ。「好きなキャラクターは？」と聞くと、「バイキンマン」と驚きの回答。正義の味方アンパンマンに対峙する悪役が好きだというのだ。まだ読み書きも出来ない子供の純粋な感覚は、私が決めつけていた善悪を破るものであった。

今月の言葉は、親鸞聖人が八十八歳の時にご制作された和讃の一節で、全文は次のようになる。

よしあしの文字もんじをもしらぬひとはみな

まことまことのころなりけるを

善悪ぜんあくの字しりがおは おおそらごとのかたちなり

意識すると、「善し悪し」という文字を知らない人は皆、真実の心を持った人。善悪の文字を知ったかぶりして使うのは、かえって大嘘つきの姿をしている」と、このような意味になる。

昨今、事件や事故、様々な問題が起きると、事実が判明することを待たず、直ぐに真相究明が始まる。それも不特定多数の人々による一斉搜索だ。またそれは、各々が持ち寄った知識や考え、自分勝手な憶測も飛び交い、それこそ「善」も「悪」もそれぞれが考えるもので判断し、どちらが正しいかと言争う。

そこに、親鸞聖人は「善悪の字しりがおは おおそらごとのかたちなり」という言葉で、自分自身で考える善悪とは、知ったかぶりであり、また、大嘘つきの姿であると、晩年の八十八歳でようやく明らかになったご自身の在り方を懺悔されている。そのような在り方は、私と関係のないように感じるが、冒頭で息子の話に触れたように、何気ない日常に於いても深く溶け込んでいる。

親鸞聖人は真実の心に触れることで、私の偏った在り方を照らし出し、自己を問い直すことを、ご和讃をもって勧められていると感じる。

(大橋 伊知郎 記)

顧問のカレンダーに聞く

いい人  
いい雨  
いい天気

# みんな私中心

Umm, nice person, nice rain, nice weather:  
Everything's always centered around me, me, me!

「私中心」、私たちの日常感覚でしょう。しかし本当にそうでしょうか。天気も人も赤ん坊さえも、思うようにいかない日常であります。逆に思うようにいかない出来事に出遇って、私中心の都合主義に気付かされ脱帽させられることがあります。歎異抄にかえりますと「善悪のふたつ存知せざるなり」と。善悪で片付かない事はかりで、自分の思うようになる人は皆無でしょう。

うつつしい梅雨を嫌う私に、「七色の梅雨」と手紙を書いた藤田ジャクリーンさん(親鸞聖人に心酔し、フランスから来日した念仏者)。思うようにいかない今をいたしてください。



# うばだいしゃ ~共悩共歩~ テーマ「時代」

優婆提舎(うばだいしゃ)論議の意。  
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。  
(例:浄土論=無量寿経優婆提舎願生偈)

このたびは今年二月より西徳寺混声合唱団「エコー」にて指揮を務められます鹿内芳仁先生に、音楽の道を歩まれたきっかけや、大切にしている教えなどについてお話を伺いました。鹿内先生は国内外でオペラ・声楽ソリストとして活躍しつつも関東を中心に学校での合唱指導を長年務められています。

## ◆先輩の歌う姿に感動して

音楽に出遇ったのは忘れもしません、中学一年生の時です。私の中学校では新入生に対して在校生全員による合唱で歓迎してくれたのですけれども、それがすごい迫力で「声ってこんなにすごいんだ」と驚かされたんですね。先輩方が体全身でウアーツと歌うんですよ。その迫力のエネルギーたるものは大感動でした。あの姿は今でも覚えています。

私を通った中学校では部活動とは別に合唱同好会というものがあって、部活とは関係なく誰でも朝昼晩合唱を音楽室、そして教室で歌える環境でした。それが音楽の道を歩むきっかけになりましたね。

## ◆何がきっかけになるか分からない

西徳寺とのご縁につながったのは、

「エコー」の竹内団長がきっかけなんですけれども、もうご縁のお導きとしか思えないですね。私はそれまでキリスト教の歌しか歌っていないんですから(笑)。団長さんとの出会いは二十数年前にもさかのぼることなんです。まさかそのことがきっかけに今、こうして西徳寺にいるとは思いませんでした。

## ◆悲しみの中に出遇った剣術

いろいろ活動をさせていた中で、どうも心が満たされないうまくいかない時期がありました。気持ち沈んでいるのだからこそ、心身ともに鍛え直したいなと考えていた時、とある先輩の紹介で剣術道場である北辰一刀流を勧められました。おかげさまで現在は初段を頂いております。

しかし、今思えば辛い出来事があったからこそ剣術に出遇えたわけで、何とも不思議です。

また今だからこそ感じるのが、実は気づかないうちに多くのチャンスを逃していたのではないかと。でも、遅く気づいたとしても今気づいたのだから、今の出遇いがあるのではないかと感じています。

## ◆現代に響く音楽の力

ベートーヴェンの第九は有名ですけ

れど、実は彼が世の中に失望して、せめて音楽の中で一つの平和な世界をつなごうという願いから作られたんです。どんな人も涙したり笑ったりするわけですが、音楽の力でそうした働きがけを手伝うのが役目だと感じております。

今年はお寺を介して仏教歌という素敵な美しい音楽に出遇わせていただきました。善し悪しが問われ続ける現代の中で、仏教の教えに触れられればと思います。

(聞き手 高橋 淳)



左より鹿内先生 聞き手高橋

## 中央ブロック会総会・聞法会報告

4月28日(日)、西徳寺本堂にて総会・聞法会を開催しました。今回から『歎異抄』を学び始めました。宗派、宗旨、時代、民族を超えて多くの人々に知られている『歎異抄』です。広く流布したからこそ、解釈の相違や間違った受け取りが為されてきたことも事実です。親鸞聖人が明らかにされたことは何なのか、私たちはどう受け取っているのかをこれから共に学んでいきたいと思えます。

**次回は7月21日(日)に開催予定**です。多くのご参加をお待ちしております。

(担当：蓮井 邦宗 記)



## 城南ブロック会総会・聞法会報告

去る5月12日、大井町きゅりあんに於いて第41回総会・第109回聞法会を開催致しました。会員22名のご参加を頂き、お釈迦様の「四門出遊」を通して学びました。老病死のいのちに無常を感じたところから仏教の歩みが始まったことを学びました。

今回は5名の方の初参加を頂き、新鮮な雰囲気でした。懇親会も賑やかに交流し楽しいひとときを過ごすことができました。

**次回は10月13日三茶しゃれなあど(世田谷区三軒茶屋)を予定**しております。ご参加をお待ちしております。(担当：山崎 哲 記)



## 城西ブロック会総会・聞法会報告

5月19日、新宿区のTKPスター会議室四谷を会場に「令和6年度総会・聞法会」を開催しました。総会に於きましては、昨年度の活動と新年度の予定を報告し今後の活動が円滑に進むようご審議頂きました。

聞法会では、親鸞聖人の『正信偈』について、担当大橋と山崎住職よりお話致しました。今回は、初参加の方もおられ、ご出席いただいた方々と熱心に耳をかたむけてくださり、改めて貴重な時間を過ごさせていただいたと感じました。

**次回は10月6日(日)を予定**しておりますので、「聞法会って何?」という方は、大橋までお気軽にお問い合わせください。

(担当：大橋 伊知郎 記)



## 御親修 開基400年・本堂建立100年記念法要

令和6年11月2日(土)、3日(日)西徳寺報恩講を勤修いたします。併せまして記念法要をお勤めいたします。詳細は改めまして本誌にてお知らせいたします。大勢のご参詣をお待ちしております。また記念法要では帰敬式を執り行います。受式希望の方は下記をご参照ください。

### 帰敬式(令和6年11月3日(日)午後)

冥加金	法名	20歳以上	20,000円以上
		20歳未満	10,000円以上
		小学生以下	5,000円以上
	院号法名	希望	190,000円以上
	院号	希望(すでに法名をお持ちの方)	170,000円以上

### ●募集締切：令和6年9月30日(月)●

※法名とは「釋〇〇」、院号とは「〇〇院」、院号法名とは「〇〇院釋〇〇」のことです。

受式を希望される方は西徳寺寺務所  
(03-3875-3351)までご連絡ください。

受式を希望される方には、  
後日詳細を書面にてお送りします。



## 能登半島地震災害救援金のお礼とご報告

令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

西徳寺では、1月末より西徳寺会館エントランス・華香所に募金箱を設置し募金活動を行いました。多くの皆様よりいただいた救援金は、令和6年5月時点で、152,445円となりましたことをご報告させていただきます。

尚、救援金は石川県庁(石川県令和6年能登半島地震災害義援金)へ寄付をさせていただきましたことも併せてご報告致します。

この度は皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

西徳寺職員一同



## 坊さんのツブヤッター



@フカケン

4月から燈虹塾に事務局として参加することになりました。江戸文化、吉原遊郭の伝統を伝える目的で、以前から西徳寺を会場に活動している燈虹塾。私が絵を描いていることもあり、何か作品への刺激になれば、と思って頑張りたいです。

#はじめての名刺 #はじめての事務



吉原と仏教を題材に描いた油絵

## えこお志お礼



熊本県 阿弥陀寺 様

台東区 小林 浩子 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

## 内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

以前、お参りに伺った先で私より少し年上(40代後半)の方にこんなことを言われました。

「親父が酒好きで、肝臓を悪くして早く亡くなりました。親戚から、“お前も早死にしなければ酒をやめろ”と言われるんです。・・・必ずいつか死ぬのに、何かを制限してまで長生きしなきゃならんのでしょうか」と。

私もお酒が好きなので、答えに窮したのを覚えています。答えとしてはどちらも間違いではないでしょう。しかし、身体に悪いものほど美味しい、やっちゃんいけない事ほど楽しいことはない。植木等さん(浄土真宗のお寺の生まれ)の「わかっちゃいるけどやめられない」の方が人間らしいと感じますね。

(編集長 仲井 真裕 記)



5月の連休、原宿へ行きました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook